

令和6年度評価項目および評価指標

資料2

	2024	2023	2023	2023	2022	2021	2020	2019	取組の方向	取組予定	
	目標 R6年度	目標 R5年度	実績 R5年度	12月末 R5年度	実績 R4年度	実績 R3年度	実績 R2年度	実績 R元年度			
1 本との出会いを通して、市民の課題解決を支援する図書館 <small>－資料・情報提供機能</small>											
①貸出と閲覧サービスの充実											
ア	入館一人当たりの貸出冊数(たちばな号含む)	5.00	4.94	3.46	4.80	4.94	4.34	4.07	選書、PRの工夫	利用者の増加や満足度の向上につながるよう、各種資料の充実およびテーマ展・おはなし会などの企画の充実のほか、図書館に関する広報に努める。	
イ	予約数	35,000	40,000	29,759	42,162	44,871	38,265	30,917	PRの工夫		
ウ	大活字本、点字資料等の受入冊数	40	65	24	39	34	61	5	積極的な選書		
エ	外国語書籍の受入冊数	37	30	37	23	46	42	9	積極的な選書		
オ	実利用者数	10,900	10,800	9,198	11,066	10,733	10,846	12,375	選書の工夫		
カ	新規利用登録者数	1,200	2,000	959	1,964	2,034	1,963	1,872	選書、PRの工夫		
キ	利用者アンケート9-②(読みたい本があったか)の平均	3.5	3.6	3.5	3.5	3.5	-	-	選書の工夫		
ク	資料受入冊数	10,000	13,600	8,442	14,184	13,696	13,269	4,298	予算の確保、適切な選書		
ケ	たちばな号の利用者数	4,000	4,100	2,911	4,102	4,124	3,541	4,074	ステーションの位置検討		
コ	たちばな号の貸出冊数	27,000	27,000	18,273	26,540	26,579	23,140	26,918	選書の工夫		
②レファレンスサービスの充実											
ア	レファレンスサービスの件数	190	165	189	116	165	180	271	PRの工夫	レファレンスはその場で行い、時間を要するものは改めて回答するなど工夫しながら対応する。 職員研修は、休館日を利用して実施する。 外部研修への参加者数は予算と人員配置の制約もあるため、可能な範囲で参加者数を維持し、自己研鑽および伝達研修を行うよう取り組む。	
イ	職員研修の実施回数	3	4	2	2	2	1	1	職員研修の充実		
ウ	外部研修(県立図書館等主催を含む)の参加者数(延べ人数)	15	15	20	17	10	6	6	各種研修への積極的な参加		
③暮らしに役立つ情報の提供											
ア	テーマ展示の実施回数	43	43	32	43	37	32	27	PRの工夫・展示コーナーの充実	テーマ展示実施回数は、テーマに即した展示期間を設定しながら開催する。 中高生の利用者数は、中高生にとって魅力ある図書の入入れや展示方法の工夫などを行う。	
イ	中高生の利用者数(実利用者数)	635	635	534	634	633	623	754	魅力的なテーマ展示の実施		
④インターネットによる情報の発信											
ア	お知らせ、行事業内のホームページ掲載回数	120	121	77	120	65	55	43	積極的な情報発信	ホームページについては、市民が知りたい情報や来館につながる情報をタイムリーに提供するようにする。 広報ひこね等へ行事業内などの掲載に努める。 報道機関へは、広く市民に周知したい情報の積極的な提供に努める。	
イ	広報紙の掲載回数	22	22	24	20	15	21	33	積極的な情報発信		
ウ	報道機関情報提供の回数	16	20	15	21	7	12	4	積極的な情報発信		
2 歴史あるまちとして、郷土の文化を守り伝える図書館 <small>－資料収集・保存・支援機能</small>											
①資料収集・受入・整理											
ア	郷土資料の受入冊数	320	400	298	396	662	386	482	適切な選書	郷土に関する資料の選書や資料の受入れを行う。	
②資料の保存・活用											
ア	資料の展示・公開回数	2	1	2	1	0	0	0	資料の整理	資料展示を行うために、所蔵資料の整理を進めるとともに、専門的な知識を有する文化財課職員との連携を図る。 舟橋聖一顕彰青年文学賞への応募数の増加を図るため、従来の広報のほか、市ツイッターや応募期間に合わせたテーマ展の開催など、広報の方法をひろげる。	
イ	古文書・貴重資料の調査・研究の対応回数	59	60	39	59	59	68	63	職員研修の充実		
ウ	舟橋聖一顕彰青年文学賞の応募数	45	40	45	33	40	39	25	PRの工夫		
3 子どもの健やかな成長と豊かな心を育てる図書館 <small>－学びの場の提供</small>											
①子どもの読書活動の推進											
ア	学校への団体貸し出し数(小・中・高)	2,000	1,300	1,559	1,305	1,214	3,738	4,375	学校へのPR、貸し出しリストの作成	学校と協議を行う機会などを捉え、団体貸出の積極的な活用を促す。 館内やホームページ等での開催案内を行う。読み聞かせ会などの機会を捉え、登録者数の増加に努める。 (※3①アのR元年度、R2年度の実績については、耐震補強工事、新型コロナウイルス感染症による休館のため、学校等への貸出冊数を増やしたことによる増となります。)	
イ	読み聞かせ、ブックトークの参加者数	320	300	314	271	118	89	488	実施の検討・準備		
ウ	未就学児の登録者数(6歳以下)	720	740	714	726	727	742	769	啓発活動の推進		
②子育て関係機関・団体との連携											
ア	読み聞かせ参加ボランティア人数(延べ人数)	100	118	106	118	15	18	18	ボランティアの支援	読み聞かせボランティアとの連携、支援より、読書推進に努める。 乳幼児とその保護者に対し読み聞かせの大切さを伝える。	
イ	ブックスタートのつどい参加組数	-	32	22	33	-	-	-	ブックスタートでのPR・利用者の開拓		
ウ	→(変更案)乳幼児と保護者への読書啓発(健診等での啓発資料配布人数)	750	-	-	-	-	-	-	啓発活動の推進		
4 心のやすらぎを与える居心地の良い図書館 <small>－滞在型図書館の機能</small>											
①やすらぎのある図書館づくり											
ア	利用者アンケート9-③(居心地)の平均点	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	-	-	-	居心地の良い空間づくり	利用し易い環境づくりなどに努める。 接遇の研修を行い、利用者満足度の高い対応ができるようにする。
イ	利用者アンケート9-④(職員の態度)の平均点	4.3	4.4	4.3	4.3	4.4	-	-	-	接遇の向上	
②居場所としての図書館づくり											
ア	利用者アンケート7(滞在時間)の平均	31.0	30.0	31.1	31.1	26.7	-	-	-	滞在時間が延びる工夫	テーマ展示の開催など館内に回遊性を持たせた開架スペースとするなど、ゆっくりと図書を選べる環境づくりに努める。 来館者数は、主催事業やテーマ展示のPRに努めるほか、資料の充実にも努める。
イ	来館者数	210,000	264,000	129,449	252,638	222,449	179,648	138,854	魅力ある図書館づくり・利用者の開拓		
5 市民の活動・交流を通して、新たな出会いを発見できる図書館 <small>－活動支援機能</small>											
①多目的な活動を支える場所の提供											
ア	集会室の利用数	110	110	97	113	78	57	123	利用条件の整理	集会室の利用は、第1集会室のみとなっているが、図書関連ボランティア団体等が活用されるよう取り組む。 図書館主催行事は、PRに努め、イベント内容の工夫を行い開催とする。 学校と連携した学習と研究成果を発表ができる場所の提供を行う。 図書館見学や職場体験などの受入れを行う。	
イ	図書館主催行事の開催数	26	26	22	29	18	12	21	イベント内容・対象の研究		
ウ	学校と連携した学習と研究発表場所の提供回数	-	1	0	0	1	0	0	学校との連携を検討		
ウ	→(変更案)学校との連携による受入れ数と研究発表場所の提供数	18	-	-	-	-	-	-	学校との連携を検討		
②図書館に関わる各ボランティア団体との連携と協力											
ア	ボランティア団体との連携回数	5	5	5	5	4	1	3	各団体との意見交換の実施	館内掲示や広報ひこね・ホームページへの掲載等により、各団体の活動について広く市民にPRする。	
イ	図書館ボランティア参加人数(延べ人数)	100	118	106	118	15	18	18	各団体の活動紹介に協力		
ウ	地域文庫数	13	13	13	11	13	13	12	新規立ち上げ、継続活動への支援		